

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成 27 年 1 月 22 日 (2015.1.22)

【公開番号】特開 2012-176602 (P2012-176602A)

【公開日】平成 24 年 9 月 13 日 (2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報 2012-037

【出願番号】特願 2011-264883 (P2011-264883)

【国際特許分類】

**B 4 1 M 5/00 (2006.01)**

**C 0 9 D 11/00 (2014.01)**

**B 4 1 J 2/01 (2006.01)**

【F I】

B 4 1 M 5/00 A

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 12 月 2 日 (2014.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

熱エネルギーの作用により記録ヘッドからインクを吐出して該インクを記録媒体に付与するインク付与工程と、記録媒体に付与したインクを加熱することでインクを記録媒体に定着させるインク定着工程とを有するインクジェット記録方法であって、

該インクは、水と自己分散顔料と樹脂粒子とを含有し、該樹脂粒子は、ガラス転移温度が 25 以上であり、平均粒子径が 70 nm 以上 220 nm 以下であり、酸価が 25 mg KOH / g 以上 150 mg KOH / g 以下であることを特徴とするインクジェット記録方法。

【請求項 2】

前記インクが、無機酸塩及び有機酸塩から選択される少なくとも 1 種を含有する請求項 1 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 3】

前記インク中の、前記無機酸塩及び前記有機酸塩の合計の含有量が、インク全質量に対して、0.1 質量% 以上 5.0 質量% 以下である請求項 2 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 4】

前記インク中の、前記樹脂粒子の含有量が、前記自己分散顔料の含有量に対して 10.0 質量% 以上である請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 5】

前記樹脂粒子の含有量が、インク全質量に対して 30.0 質量% 以下である請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 6】

前記インクが更にトリメチロールプロパンを含有する請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記

載のインクジェット記録方法。

【請求項 7】

前記インクが更に 1, 2 - ヘキサンジオール又は 1, 6 - ヘキサンジオールを含有する請求項 6 に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 8】

前記インクが更にノニオン性界面活性剤を含有する請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 9】

前記インク定着工程におけるインクの加熱を前記樹脂粒子のガラス転移温度以上の温度で行う請求項 1 ~ 8 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。

【請求項 10】

更に、前記インク中の色材を凝集する凝集剤を含む凝集液を前記記録媒体に付与する凝集液付与工程を有する請求項 1 ~ 9 のいずれか 1 項に記載のインクジェット記録方法。